

板橋中央総合病院
板橋セントラルクリニック
地域広報誌

PLAZA IMS

平成22年1月 Vol.29 新年号
プラザ イムス

新たな年を迎えて

板橋中央総合病院 院長 新見能成

新年明けましておめでとうございます。

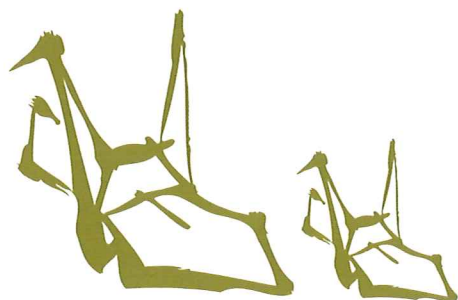
2010年度の板橋中央総合病院は、地域の基幹病院としての役割と責任を拡大し、ブランド力の向上を図っていきます。

昨年の政権交代による政治・経済の歴史的転換において、医療制度の改革も急がれておりますが、地域医療では、特に救急医療体制の整備と慢性疾患に対する地域連携が要点となっております。各診療所の医師には、かかりつけ医として在宅での診療や緩和医療を推進することが求められ、そこで急変時における急性期病院との連携が最重要課題となっております。



板橋中央総合病院は、二次救急指定病院としての機能分担を明確にしながら、積極的に地域での責任を果たしていく所存です。ER(救急救命室)への有効な人員配置、病床の弾力的な運用、効率的なチーム医療の見直しなどを通して、院内の全システムが救急患者の受け入れに前向きに働くように改善していきます。また、二次医療圏内の病院、施設、診療所との間に信頼の厚い前方・後方連携を再構築し、そこに必要とされる手続きを整備します。

垣根の低い連携で民間病院の長所を生かし、連続性のある医療の中で患者様・ご家族様の満足度を追求します。そして、健全経営の中で質の高い医療人を育成し、将来の地域医療を保証できるように努めていきます。皆様方におかれましては、引き続き温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。



院長 新見 能成 (にいみ よしなり)

昭和55年 順天堂大学医学部卒 同大学院修了

◆資格◆

日本麻酔科学会指導医・代議員

日本心臓血管麻酔学会理事

世界初の2管球X線管球／検出器搭載CT装置導入 自然に動いている心臓をわずか5～10秒で撮影可能

板橋中央総合病院 循環器科 太田 洋

2009年11月より、
板橋中央総合病院では
C館地下1階に新型CT装置を導入
いたしました。1回転128スライス
撮影可能、最速の性能と機能を
合わせ持つ高機能CTです



1回転128スライス撮影可能！ 機能も充実 最速のCT装置

CT (Computed Tomography: コンピュータ断層撮影) 検査とは、体の周囲からX線を照射することによって得られた断面の情報を画像再構成し、断層(輪切り)像が得られる検査です。今まで当院で使用されていた64列マルチスライスCTは、1回転で64スライスの画像が得られる高度な装置でしたが、今回導入したCT装置は、1回転で128スライスと今までよりさらに撮影スピードが速く、多くの画像が得られるようになりました。また、得られる画像データを色々なコンピュータ処理をする機能も充実しており、より詳細な画像診断に威力を発揮しています。

拍動している心臓のCT画像が今まで以上に鮮明に

とくに拍動している心臓のCT画像がさらに鮮明となりました。わずか5秒～10秒で動いている心臓の撮影ができます。これまでは脈を遅くする薬(ベータ遮断薬)をあらかじめ服用していただき、心拍を遅くしてから、冠動脈の撮影を行なっていましたが、この装置ではそのお薬を服用していただく必要はありません。これまで解析が難しかった不整脈の患者さまや、緊張して脈が速くなってしまった方の画像も鮮明に描出できるようになりました。また、冠動脈内のステント治療部の内部も従来のCTに比べ、よりはるかに鮮明になっています。

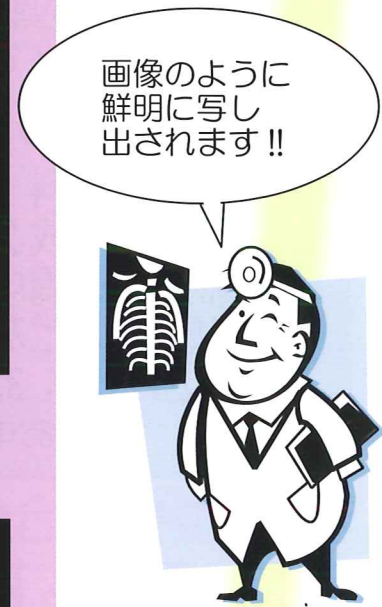


狭心症や心筋梗塞の確定診断は今まで心臓カテーテル検査が主流でした。心臓カテーテル検査は体の中にカテーテルという2mmから3mmの「くだ」を通さなければなりませんでした。冠動脈CTでは、わずか数秒で狭心症や心筋梗塞の診断が可能となっています。カテーテル検査より身体への負担が軽く、より正確に、全身撮影を短時間で行うことができます。ただし、治療を要する患者さまや症状の強い方、心電図変化のみられる方は直接、心臓カテーテル検査を行います。



【心臓CT～従来型と最新型の比較～】

従来型	最新型
<p>心拍数90以上 脈が速いと不鮮明な部分がある(←)</p>	<p>心拍数90以上 脈が速くても鮮明</p>
<p>主要血管は描出されるが末梢は不鮮明</p>	<p>末梢まで鮮明に描出</p>
	<p>冠動脈ステント内部も従来型に比べて、より鮮明になりました。</p>



CT専門の放射線技師が担当します



新しいマルチスライスCTの導入により、様々な病気の早期発見や治療方針の決定、治療効果の判定など、今まで以上に貢献できることと期待しております。検査時間が短縮されることで、患者さまにはストレスなく検査を受けていただけるように努めていきたいと考えております。今後も、より質の高い医療と地域医療の発展に貢献できるよう努力していきます。どうぞよろしくお願いいたします。

第133回

無料公開医療講座 開催決定!!

腎臓病は心筋梗塞や脳梗塞などとも関係が深い大変危険な病気です。
今回の講座では腎不全外科と内科医師が腎臓疾患についてお話しします。

『腎臓病の早期発見・早期治療～予防から移植まで～』

講師：外科 松野直徒 医師 / 内科 小高健三 医師

日付：平成22年2月23日 (火) 15:00～16:30

場所：板橋中央総合病院 E館2階 講堂

対象者：どなたでも参加できます **予約制** (定員60名)

申込方法：お電話またはメール、ご来院の上ご予約ください。

お申込は…地域健康相談室 (B館1階) 03-3967-1198

板橋中央総合病院

「皮膚科・形成外科」&「産婦人科」



Webサイトオープンしました!



皮膚科・形成外科webサイト

診療内容や専門外来を分かりやすくご案内しております。また、設備・医療機器のご説明、関連施設やシャトルバスの情報も掲載しておりますので、ぜひ一度ご覧ください!

産婦人科webサイト

外来診療から入院、出産までの流れをご案内しております。初めてのお産の方でもご安心いただけるような当院のサポート体制を詳しく記載した内容になっております。



URL

<http://ims-site.jp/itabashi.hp/hifuka/>

URL

<http://ims-site.jp/itabashi.hp/sanfujinka/>

基本方針

- ①地域住民、地域医療機関と密着した医療と連携
- ②24時間救急医療体制 (高度2次)
- ③何人も平等に受けられる医療
- ④医療人としての自覚と技術向上のための教育
- ⑤最新医療機器の導入による高度な医療

理念

「まず愛し、そして愛される病院」

～ 一人でも多くの幸せを! ～

編集後記

新年明けましておめでとうございます。皆さまはどのように新年を迎えられましたか? 私は、高尾山の御来光を拝みながら新年を迎えました。天気が悪く見えない年もあるそうですが、運良く見ることで自然の壮大さに感動しました。

さて、当院では子宮がん、乳がん、前立腺がん、骨粗鬆症予防検診が受診できます。期限が2月末と迫っておりますので対象の方はお早めにご受診ください。

新年号では、「皮膚科・形成外科」と「産婦人科」サイトをご紹介しました。今後も患者さまに安心して医療を受けていただけるように、ホームページ利用者の見やすいページづくりを目指し、さらなる改善に向けて努力してまいります。病院広報誌と併せて情報発信してまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。ご意見・ご要望などございましたら、ぜひお寄せくださいませ。

それでは、今年1年が皆さまにとって良い年になりますように・・・

広報 川添 理菜

板橋中央総合病院 地域広報誌

PLAZA IMS (プラザ イムス)

Vo.29 新年号

発行：板橋中央総合病院 地域健康相談室

発行日：2010年1月20日

医療法人社団明芳会 板橋中央総合病院

〒174-0051 東京都板橋区小豆沢2-12-7

Tel 03 (3967) 1181



E-mail: koho.ibh@ims.gr.jp

<http://www.ims.gr.jp/itabashi.hp/>

